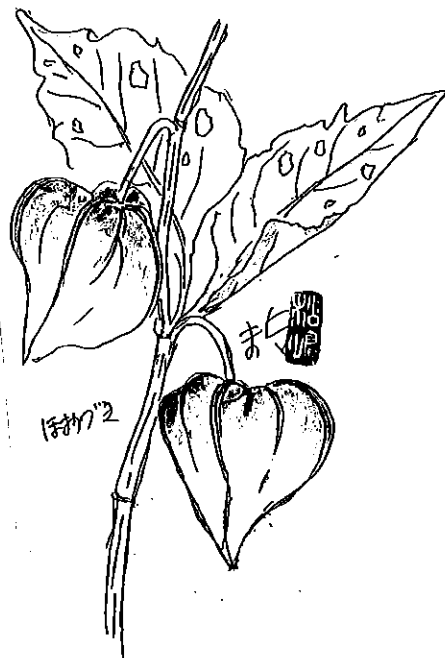


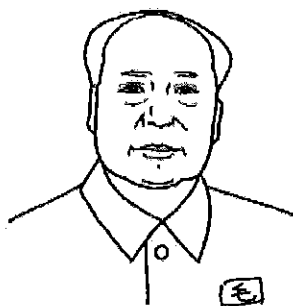
1学期終了

The First Term comes to a close on the 20th of July. この意味、わかりますよね。そう、明日で1学期が終了します。この1学期は、皆さんにとって有意義な時間だったでしょうか。年度当初、今年のキーワードとして“感動・感謝”を掲げました。私が一番印象に残っているのは、やはり体育大会です。リーダーを中心に、全学年が一致団結して演技・競技を行う姿は圧巻でしたし、その姿は“感動・感謝”そのものでした。

明後日から夏休みに入ります。たっぷり時間があります。それをどう使うかは自分次第です。今からの頑張りが最終的には自分に返ってきます。3年生は進路に向けて、1・2年生は体力や気力・学力向上に向けて、しっかり頑張ってください。今年の夏休みが“収穫の夏・充実の夏”そして“感動と感謝の夏”になることを祈っています。ちなみに、The new term commences on the 1st of September. 40日後、みなさんがより遅くなって登校するのを楽しみにしておきます。2学期も大忙しです。“感動・感謝”の更なる充実を期待しています。



反面教師



「私が教師を目指した理由」それは大きく2つあります。1つは「尊敬する先生がいたこと」2つは「自分の父のようにはなりたくなかったこと」です。「尊敬する先生」は中1のときの担任。いわゆる“憧れ”の先生でしたが、自分が教師になってからも同僚として働かせていただきました。そのときもたいへんお世話になり、「教師になってよかった」とつくづく思いました。それと“父の姿”。4人の子どもの育て上げたので、今では感謝しかありませんが、転職を重ねる姿に「ああはなりたくない」と思い反感さえ持っていました。その姿は、それこそ“反面教師”でした。今になって考えると、あの姿があったからこそ、生涯一つの職を続けられたのかもしれない。いずれにしても、子どもは大人の姿を見て育ちます。私達大人はそれを忘れてはいけません。ただ、最終的には、子どもがどう感じ、どう判断し、どう行動するかが問題なのです。結局、自分次第ということです。このことを、肝に銘じてほしいと思います。参考までに・・・

「反面教師」は、中国の偉人である毛沢東が考えた言葉である。毛沢東は、1921年7月に創立された中国共産党の創立党員の1人で、1945年より中国共産党中央委員会主席を務めた。日中戦争後の国共内戦では蒋介石率いる国民党政府を台湾に追放し、1949年10月1日に中国大陸で、中華人民共和国の建国を宣言した。1949年10月から1976年9月まで同国の最高指導者であった。